

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	刑法		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	2枚

以下の問題の全てに解答しなさい。なお、各問題につき1枚ずつ解答用紙を使用し、それぞれの冒頭に問題番号を明記すること。

問題1

いわゆるブーメラン現象を回避可能な理論構成を四つ挙げ、それぞれの具体的立論を詳細に説明しなさい。その際、これら理論構成のそれぞれにつき、向けられうる批判についても論及すること。

問題2

虚偽供述を素材として、人的庇護罪の一般法を如何に解するかを判例の立場を踏まえつつ論じなさい。その際、その理解に対して向けられうる批判についても論及すること。

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	政策過程論		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	2枚

以下の論述問題にすべて答えなさい。(各解答に問題の番号を明記すること)

1. 公共政策と市場に関する次の問題に答えなさい。

(1) 市場化テストとはいかなる制度か説明しなさい。

(2) PFI とはいかなる制度か説明しなさい。

2. 政策決定の理論に関する次の問題に答えなさい。

(1) マーチら(Cohen, March and Olsen)が提唱した政策決定の理論モデルの名称を述べた上で、その理論モデルの特徴を説明しなさい。

(2) マーチらの理論モデルを修正する形でキングダン(Kingdon)が提唱した理論モデルについて、その名称と当該理論の特徴を答えなさい。また、キングダンがマーチらの理論をどのような点で修正したのかについても説明しなさい。

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	政策過程論		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

次の英文を日本語に訳しなさい。

出典: Paul Pierson (2004) *Politics in Time: History, Institutions, and Social Analysis*, Princeton University Press, p.31, line 7-17. (一部改変の上、引用。)